



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 オカモト株式会社

上場取引所 東

コード番号 5122 URL <https://www.okamoto-inc.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 俊夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 高島 寛

TEL 03-3817-4121

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	70,254	△1.0	6,637	△11.5	7,612	△12.3	3,523	△43.5
2019年3月期第3四半期	70,999	5.5	7,497	△9.2	8,684	△4.9	6,234	△10.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 4,304百万円 (△2.5%) 2019年3月期第3四半期 4,416百万円 (△54.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	186.09	—
2019年3月期第3四半期	324.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	110,118	67,108	58.4
2019年3月期	108,262	66,095	58.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 64,255百万円 2019年3月期 63,203百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	75.00	—
2020年3月期	—	50.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※1. 当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、2019年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

※2. 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当50円00銭 記念配当 25円00銭(創立85周年記念配当)

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,000	△2.9	6,800	△21.6	8,000	△20.0	3,500	△45.5	184.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	19,599,367 株	2019年3月期	20,399,367 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	747,673 株	2019年3月期	1,359,218 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	18,934,640 株	2019年3月期3Q	19,200,822 株

※当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。株式数は、当該株式併合が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得環境が持続し、景気は緩やかな回復を続けてきましたが、消費増税前駆け込み需要の反動及び消費マインドの低下が懸念され、国際的には米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題の長期化、日韓関係の悪化、中東情勢の混迷など多くの不透明要因が依然として存在し、極めて不確かな経営環境にあります。

このような状況のもと、当社グループは、福島工場が台風19号の影響による浸水被害に遭い、操業停止の事態となり、早期の生産再開を目指して復旧作業に取り組むとともに、他工場での生産効率のさらなる向上と、引き続き全社的な経営の効率化及び合理化を図って参りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は70,254百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は6,637百万円（前年同期比11.5%減）、経常利益は7,612百万円（前年同期比12.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,523百万円（前年同期比43.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 産業用製品

一般用フィルムは、市況低迷の影響により、売上減となりました。工業用フィルムは、海外用途の市況落込みが影響し、売上減となりました。建材用フィルムは、住宅向けは堅調でしたが、自動車加飾用が中国市況低迷の影響を受け、売上減となりました。多層フィルムは、工業材料向け及び医療向けの需要が堅調に推移し、売上増となりました。壁紙は、住宅着工件数は減少したものの、価格戦略の推進及び新規物件の取り込みで売上増となりました。農業用フィルムは、農POの販売増加と消費増税前の駆け込み需要がありましたが、作物価格の低迷によりフィルム張替需要が減少し、売上横這いとなりました。自動車内装材は、北米市場の悪化及び中国向け商材の現地生産品との競争激化により、売上減となりました。フレキシブルコンテナは、石油化学メーカー向けが好調でしたが、福島工場被災の影響で、売上横這いとなりました。粘着テープは、台風による窓割れ防止対策用として養生テープの販売が増加し、売上増となりました。工業用テープは、スマートフォン関連が堅調でしたが、自動車向け製品の需要低調もあり、売上横這いとなりました。食品衛生用品は、業務用ラップは新規採用もあり堅調に推移していましたが、福島工場被災の影響で、売上減となりました。食品用脱水・吸水シートであるピチット製品は、水産加工業者向け及び畜産業者向けが好調に推移していましたが、東北地区の漁獲高減少の影響を受け、売上微増となりました。研磨布紙等は、研磨材は半導体向けの受注が減少し、研磨布紙は鉄鋼関連や住宅関連向けが市況の低迷で減少したため、売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は44,880百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は2,426百万円（前年同期比29.9%減）となりました。

② 生活用品

コンドームは、国内市場でのインバウンド需要の勢いは緩やかになりましたが、オカモトゼロワンを中心とする薄物商品が依然として堅調で、売上微増となりました。浣腸は、アジア向けが好調でしたが、国内市場での低迷を受け、売上減となりました。除湿剤は、福島工場被災の影響で、売上減となりました。カイロは、暖冬の影響により、売上減となりました。手袋は、炊事用は新製品発売により堅調に推移しましたが、その他の作業用途向けが低調で、売上減となりました。メディカル製品は、滅菌器は歯科関連を中心に堅調に推移し、プロブカバーは新製品発売が寄与し、売上増となりました。ブーツ及び雨衣は、降雨量及び降雪量の減少の影響により夏季商品及び冬季商品いずれも伸び悩み、売上減となりました。シューズは、シューズ市場全体の市況低迷に加えて、消費増税の影響もあり、売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は25,201百万円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益は5,548百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

③ その他

その他の事業は、物流受託事業及び太陽光発電事業であります。

当セグメントの売上高（振替前）は2,869百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント利益は190百万円（前年同期比36.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は110,118百万円で、前連結会計年度末と比べ1,855百万円増加しております。

流動資産は66,379百万円で、前連結会計年度末と比べ143百万円の減少となりました。これは主として、現金及び預金642百万円、電子記録債権338百万円が増加し、受取手形及び売掛金162百万円、商品及び製品881百万円が減少したことによるものです。

固定資産は43,738百万円で、前連結会計年度末と比べ1,998百万円の増加となりました。これは主として、有形固定資産407百万円、投資有価証券1,403百万円が増加したことによるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は43,009百万円で、前連結会計年度末と比べ842百万円増加しております。

流動負債は32,071百万円で、前連結会計年度末と比べ72百万円の増加となりました。これは主として、災害損失引当金が1,945百万円増加し、支払手形及び買掛金734百万円、未払法人税等620百万円、賞与引当金431百万円が減少したことによるものです。

固定負債は10,937百万円で、前連結会計年度末と比べ770百万円の増加となりました。これは主として、長期借入金218百万円、繰延税金負債305百万円、退職給付に係る負債155百万円が増加したことによるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は67,108百万円で、前連結会計年度末と比べ1,013百万円増加しております。これは主として、自己株式の消却等によるもの1,956百万円、その他有価証券評価差額金946百万円が増加し、利益剰余金が1,633百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月に発生した「令和元年台風第19号」により被災した当社福島工場における固定資産の原状回復費用及び棚卸資産の被害等により、2,724百万円を「災害による損失」として特別損失に計上しております。被災による業績への影響額を合理的に算定するのが困難であったため、2019年11月6日付の「2020年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」において通期業績予想を一旦未定としておりましたが、このたび業績への影響額の精査に一定の目処が立ったため、業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2020年2月7日)公表いたしました「特別損失の計上並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,070	23,712
受取手形及び売掛金	20,043	19,881
電子記録債権	7,814	8,153
商品及び製品	9,176	8,295
仕掛品	2,091	1,931
原材料及び貯蔵品	2,770	2,869
その他	1,596	1,570
貸倒引当金	△40	△34
流動資産合計	66,522	66,379
固定資産		
有形固定資産	22,601	23,009
無形固定資産	209	374
投資その他の資産		
投資有価証券	18,338	19,741
繰延税金資産	56	98
その他	558	531
貸倒引当金	△25	△16
投資その他の資産合計	18,928	20,355
固定資産合計	41,739	43,738
資産合計	108,262	110,118

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,012	21,278
短期借入金	2,718	2,473
未払法人税等	1,189	568
賞与引当金	1,016	584
災害損失引当金	-	1,945
その他	5,062	5,222
流動負債合計	31,999	32,071
固定負債		
長期借入金	1,014	1,232
繰延税金負債	1,435	1,740
退職給付に係る負債	6,858	7,014
その他	858	949
固定負債合計	10,166	10,937
負債合計	42,166	43,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	511	448
利益剰余金	47,306	45,673
自己株式	△4,950	△2,994
株主資本合計	55,915	56,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,533	8,479
繰延ヘッジ損益	6	3
為替換算調整勘定	115	△144
退職給付に係る調整累計額	△367	△258
その他の包括利益累計額合計	7,288	8,080
非支配株主持分	2,891	2,853
純資産合計	66,095	67,108
負債純資産合計	108,262	110,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	70,999	70,254
売上原価	52,092	52,254
売上総利益	18,907	17,999
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,912	2,838
その他の販売費	2,252	2,261
給料及び賞与	2,965	2,974
賞与引当金繰入額	210	220
退職給付費用	138	139
その他の一般管理費	2,930	2,927
販売費及び一般管理費合計	11,409	11,362
営業利益	7,497	6,637
営業外収益		
受取利息	17	23
受取配当金	495	530
不動産賃貸料	495	498
為替差益	107	-
持分法による投資利益	133	100
その他	106	137
営業外収益合計	1,356	1,290
営業外費用		
支払利息	16	19
不動産賃貸費用	88	86
為替差損	-	147
その他	64	62
営業外費用合計	169	315
経常利益	8,684	7,612
特別利益		
固定資産売却益	0	1
関係会社株式売却益	39	-
その他	1	0
特別利益合計	41	1
特別損失		
減損損失	-	120
災害による損失	-	※1 2,724
固定資産除却損	11	1
特別損失合計	11	2,846
税金等調整前四半期純利益	8,714	4,767
法人税、住民税及び事業税	2,145	1,456
法人税等調整額	210	△214
法人税等合計	2,356	1,241
四半期純利益	6,358	3,525
非支配株主に帰属する四半期純利益	123	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,234	3,523

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	6,358	3,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,117	970
繰延ヘッジ損益	19	△3
為替換算調整勘定	74	△305
退職給付に係る調整額	95	109
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	7
その他の包括利益合計	△1,941	779
四半期包括利益	4,416	4,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,305	4,315
非支配株主に係る四半期包括利益	111	△10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2018年11月7日開催の取締役会決議及び2019年5月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式187,600株の取得を行っております。この結果、単元未満株式の買取による取得も含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が877百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2019年5月9日開催の取締役会決議に基づき、2019年5月28日付で、自己株式800,000株の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が63百万円、利益剰余金が2,769百万円、自己株式が2,833百万円それぞれ減少しております。

(追加情報)

(「令和元年台風第19号」による被害の発生)

2019年10月に発生した「令和元年台風第19号」による河川氾濫の影響により、当社福島工場(福島県いわき市)が浸水の被害に遭い、現在操業を一時停止しております。これによる復旧費用等のうち、第4四半期連結会計期間以降に見込まれる復旧費用等については、その金額を合理的に見積もり、「災害損失引当金」として、当第3四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表の流動負債に計上しております。

なお、当社はかかる被害に備えた保険を一部付しておりますが、当第3四半期連結会計期間末において保険金受取額は未確定であります。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 災害による損失

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

2019年10月に発生した「令和元年台風第19号」により被災した当社福島工場における固定資産の原状回復費用及び棚卸資産の被害等により、2,724百万円を「災害による損失」として特別損失に計上しております。

なお、この損失額には災害損失引当金繰入額1,945百万円が含まれており、現時点で合理的な見積りが可能な範囲における見積額を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	45,572	25,252	70,825	173	70,999	—	70,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	71	296	368	2,841	3,209	△3,209	—
計	45,644	25,548	71,193	3,015	74,209	△3,209	70,999
セグメント利益	3,460	5,328	8,788	300	9,088	△1,591	7,497

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,591百万円には、セグメント間取引消去29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,620百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	44,880	25,201	70,082	171	70,254	—	70,254
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	285	353	2,698	3,052	△3,052	—
計	44,949	25,487	70,436	2,869	73,306	△3,052	70,254
セグメント利益	2,426	5,548	7,975	190	8,165	△1,528	6,637

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,528百万円には、セグメント間取引消去27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,555百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「産業用製品事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において120百万円であります。